



外観



木のアスレチック

園舎そのものが遊具 たのしい5つの遊び場

しゅりの泉保育園 | 設計・監理：渡久山設計

敷地はゆるやかな傾斜地で、1階が駐車場、2階から上が保育施設となる。「園舎そのものが遊具」をコンセプトに5つの「遊び場」を設けた。

【第一の遊び場】は、1階の玄関アプローチを数段上がると見えてくる園庭とそこに隣接する半戸外のデッキテラスとなる。そのデッキテラスと園庭との間には大きな段差が生じたが、「土管トンネルのある小さな丘」をつくり、その上を子どもたちが行き来できるよう工夫した。子どもたちはトンネルをのぞき込んだり、くぐり抜けたりして楽しんでいる。

【第二の遊び場】は、園庭からトンネル丘を通って入るデッキテラスと、さらにその上の「はしご穴」、その穴を登って入る3階のデッキテラスなど、それら一連の空間。新たな試みで設置したはしご穴も格好の遊び場に。地上に広い園庭の確保が難しいため、こうして立体的な工夫を施した。3階デッキテラスはランチルームと繋がり半戸外での食事もできる。

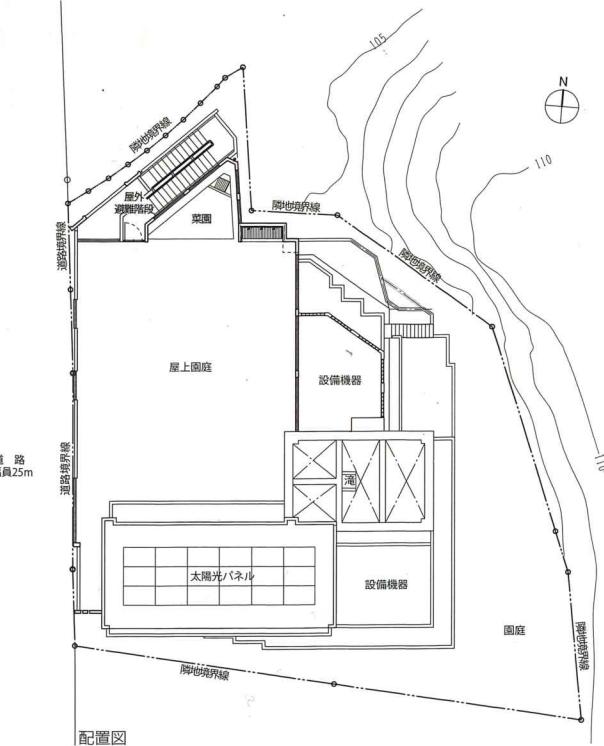
そのランチルームの隣に【第三の遊び場】として、一層分の高さを三分割した「こどもサイズの隠れ家」を設けた。立体的な木製のアスレチックで、こどもの好奇心をくすぐる楽しい空間とした。その上の4階にあるのが【第四の遊び場】となる多目的ホール+台。室内でも思いっきり駆け回ることができ、さまざまなイベントにも対応できる。

屋上は園庭として整備し、小菜園、プールや水遊びができる「天空の滝」を設けた。そこは夏場の涼をとりつつ、めいっぱい水と戯れることができる【第五の遊び場】。そのほか、ランチルームにはこどもキッチンを設けて、ムーチー、ホットケーキづくりなどのクッキングも可能に。多目的ホール横には図書コーナーなども設け、知的好奇心を満たせるよう工夫している。

(比嘉和与)



トンネル丘 下から



所在地 那覇市首里石嶺町4-1-8
建築主 社会福祉法人 ポプラ福祉会
用途 保育所
定員 120名
設計担当 運天 熱 比嘉和与
施工 建築：大城組
電気：八起電設
空調・衛生：東洋設備
構造・規模 RC造 地上5階
敷地面積 588.39m²
延床面積 1,335.25m²
竣工 2017年3月



上 | 天空の滝 下左 | トンネル丘 下から 下右上 | 1階から3階までをつなぐトンネル穴をのぞく
下右下 | 木のアスレチック